

青谷高の先生に 「今までで一番おもしろかった本」 を紹介してもらいました



- ①氏名
- ②書名.著者名.出版社
- ③コメント

1 ①足立 一枝（教頭）

②『君の臍臓をたべたい』 住野よる 双葉社

③本を読むのは、正直得意ではないが、大好きな俳優が出ていた映画を見てから本を読んだので、印象に残っている本の一つです。

「目の前のことに一生懸命！に生きたい」と震災体験後に強く思い続けている私に、背中を押してくれる名言がたくさんこの本にはあります。「（病気の）私も君も変わらない。一日の価値は全部一緒。」「生きることは誰かと心が通うこと」

いつでも明日が来るとして生きるのではなく、今この瞬間の大切に、人との関わり合いを大事にできるそんな青高生であってほしいです！ぜひ読んでみてください。



①石谷惣太郎（数学）

②『永遠の0（ゼロ）』 百田尚樹 太田出版

③ジャンルとしては架空戦記で、第2次世界大戦で戦った零戦パイロットの生き様を描いた作品です。個人的には「永遠の0」というタイトルから、数学に関係ある内容かなと思って読んだら全く違う内容でした。フィクションですが、作者の並々ならぬ想いから描かれた作品で、第2次世界大戦時に生きた日本人がどのような想いでアメリカと戦っていたのかが分かる作品になっています。生きたくても死ぬことを選んだ人達が、これ以上ないほどリアルな描写で描かれており、命の尊さを感じずにはいられません。凄惨な描写もたくさんあり、心臓の悪い人にはおすすめしませんが、生きるということについて改めて振り返ってみたいと思う人はぜひ読んでみて下さい。

①泉谷 慶和（特別支援教育支援員）

②星新一のショートショート

③私が紹介する本は、星新一のショートショートです。中学高校の頃に読んで、面白いと思った記憶があります。本当に短いにも関わらず、無駄がなく簡潔で面白い。発明や機械に加えSF的要素のあるそれぞれの話は予想できぬオチの連続で飽きがない。

ショートショートは寝る前に数話だけ、外出の待ち時間に、あるいは休日にまとめて一気に日常に寄り添った読書ができる素敵な本です。ぜひ一度気軽に読んでみてください。

①石丸 志保（書道）

②『舟を編む』 三浦しをん 光文社

③映画化、ドラマ化、アニメ化されている人気の小説です。私は原作が出た時にすぐ読んだ記憶があります。内容的にもそんなに難しくはないので、読みやすいと思います。国語が好き、言葉が好き、編集に関する世界に携わってみたいという人には特におすすめです。

①辞書を作る裏側、すごい！ ちなみに辞書の名前は「大渡海」。

②言葉についてこんなに深く考えるんだ…おもしろい！

③主人公の名前は「馬締（まじめ）」さん。名前もキャラクター設定も最高。

④タイトルの意味→「辞書は言葉の海を渡る舟、編集者はその海を渡る舟を編んでいく」

みなさんはどんな言葉の海の中にいますか？

①植田志桜里（国語）

2②『日本語の歴史：青信号はなぜアオなのか』

小松英雄 笠間書院

③青信号・青リンゴ・青菜…これらの物の実際の色は「緑」色なのに、なぜ「青」と表現するのか疑問に思ったことはありませんか？このことは古代の日本に色の概念・呼び名が4つしか無かったことと関係しています。さて、どの4色でしょうか。また、古文の活用がなぜ現代と異なっているのか、同じだったら覚える必要無いのに…と考えたことはありませんか？これは日本語を話す人々が使いやすくなるように日本語を変化させてきたからなのですが、実は現在の私たちも変化させている最中なのです。このような普段何気なく使っている日本語の表現を歴史的変遷とともに学ぶことのできる本です。言語・日本語に興味のある人はぜひ読んでみてください。

①岡田 直子（家庭）

②『まゆとおに』

富安陽子/文 降矢なな/絵 福音館書店

③3人目の子どもの育児休暇中、1人目の子どもが小学校に上がり、その小学校の読み聞かせグループに入ったことがきっかけで、絵本の魅力にとりつかれました。朝読の時間に子どもを連れて読み聞かせに行っていたのですが、割り当てられた担当クラスの子供達の様子をイメージし、一緒に楽しめるものを探しているときに会った絵本です。元気いっぱい力持ち、純粋で礼儀正しいやまんば娘の“まゆ”。そんな“まゆ”にたじたじな鬼とのリズムよいやりとりに吸い込まれますよ。是非、手に取ってみてください。

①岡村美由紀（外国語）

②『マチネの終わりに』 平野啓一郎 毎日新聞出版

③芸術家と国際ジャーナリストとの大人の恋愛小説。

ほんの少しのすれ違いが運命を変えることがあります。でもその運命も必然。

パリの美しい情景が鮮明に浮かぶ描写も素敵で美しい作品です。人生経験を積んでから是非読んでみてください。



①奥田 政治（国語）

②『三四郎』 夏目漱石

③小説には旬があって、ふさわしい時期を逃すとおいしくないうちにふと気づく。それは内容が時とともに古びていく、時代遅れになっていくということではなく、読む側、つまり自分が欲さないということである。そんな小説のなかでいつまでたっても、新鮮な気持ちで向き合えるものもあって、夏目漱石の『三四郎』がそれである。青春小説のというよりは、日本の小説の嚆矢にして金字塔。どんなに時代が変化しても変わらぬ若者の漠然とした不安や不満、人間関係の機微が淡々と描かれている。出会う人物も個性的で魅力的である。人を理解したいと強く願いつつ同時に自分の気持ちを持って余してしまう若くて瑞々しい感覚は時代を超えて輝いている。

③①奥田 政治 (国語)

②『千夜一夜物語』 (全11巻) バートン版 筑摩書房

③読書はつまり「人」と出会うこと。『千夜一夜物語』はまさに「夜伽」の物語。どこから読んでもいつよんでも楽しめる。夜伽の物語であるので当然きわどい表現もあるけれど、語り物の醍醐味が十二分に味わえる。

夜眠りに付けない人は昼間の充実度が低いせいだという研究報告を見た。なるほど寝るのが惜しいということだろう。『千夜一夜物語』はそんな単調で退屈で平凡な毎日の終わりに彩とエッセンスを加え、特別な一日としてくれる。

やや分厚いがこの分厚さも豊かさと感じられる。「物・語り」なるものが詰まりに詰まっているアラビアンナイトの世界は果てしない。読書が時空を超えて様々な人びとと出会わせてくれる。



①春日利津子 (司書)

②『3びきのかわいいオオカミ』 ユージーン・トリビザス/作
ヘレン・オクセンバリー/絵 こだま ともこ/訳 富山房

③小学校の図書館で働いていた時に会った絵本です。誰もが幼いときに読んでもらったことがある『3びきのこぶた』のパロディです。『3びきのこぶた』では、こぶたが作った家を悪いオオカミが息で吹き飛ばして壊しますが、この本では、わるいおおぶたが、かわいいオオカミが作った家をハンマーやダイナマイトで壊します。わるいおおぶたの悪っぷりがたまらなく可笑しいです。かわいいオオカミたちが次に作った家は意外なものでできていました。読み返してみて、戦争が続く今の世界情勢を考えてしまいました。

①木島 義彰 (数学)

②『万能鑑定士Qの事件簿』 松岡圭祐 KADOKAWA

③決して表紙で判断しないでください。全13巻のシリーズものだが、テンポのよい展開に引き込まれて一気に読んでしまいます。主人公・凜田莉子の真贋を見抜く天才的な知識と観察眼は必見。しかし、その才能も努力によって得られたものという設定がまたにくい。作品にはミステリ感もあり、謎解きのように物語は展開していく。綾瀬はるか主演で映画化もされたので、そちらから入るのもアリかも (原作の方が数段いいけどね)。姉妹編の特等添乗員αの難事件、スピンオフシリーズの短編集まで踏み込めば、どっぷり世界観に浸れること間違いなし。

①木下 重揮 (商業)

②『京大芸人式 日本史』 菅 広文 幻冬舎

③数年前のABC放送によるお笑い芸人の運動神経の鈍さを面白おかしく特集した番組「アメトーク」で紹介された本である。番組の中では「勉強大好き芸人による、頭が良くなる学習方法」というコーナーでロザン菅自らが著者、幻冬舎より発売したものを春日先生より紹介を受けた。番組ではロザンの勉強法に生徒は興味津々で感嘆しており、詳しい内容がこの書籍にまとまっていることから、感想の中には「今すぐ欲しい」という生徒もいたほど。歴史、特に日本史がわからない生徒には目からうろこが飛び出るほど非常にわかりやすい学習方法が紹介されている。是非、青谷高校の生徒には読んで欲しいと思う。

①ジェイムス（外国語指導助手）

②『ホビット』 トールキン 原書房ほか

③『ホビット』は冒険するビルボバギンズというホビットについてのファンタジー物語です。魔法使いのガンダルフと一緒にドラゴンから宝を取り戻すお話です。

私はファンタジーが好きで、『ロード・オブ・ザ・リング』の映画が好きだったので、『ホビット』も読んでみたいと思いました。14歳の高校生の時に読みました。

一番面白かったところは、主人公のビルボが物語の冒険を通して人格が変わったことです。最初ビルボは一人でのんびりしていましたが、我儘な人だったけど、最後にはヒーローになりました。

ファンタジーの物語好きの生徒におすすめです。ドラゴン、エルフ、ドワーフなど色んな面白いキャラクターが登場します。

①菅生 宏（理科）

②『オー・ヘンリー傑作選』 オー・ヘンリー 岩波書店

③如何せん、小学校か中学校に読んだものなので、うろ覚えになっています。当時は、オー・ヘンリー傑作選という名前のとおり、短編小説がたくさん入っていました。調べてみたところ、当時はオー・ヘンリー短編集（新潮社）で第1巻～3巻までであったようです。代表作は、「賢者の贈り物」「最後の一葉」等々ですが、少々ひねくれていた私には代表作が心に沁みたくは覚えていません。ただ、文章だけの本を3冊最後まで読み切ったのだから、当時の自分はやはり面白かったとおもったのだと思っています。読書を普段しない人は、自分が興味を感じる、短めなものから始めると良いと思います。はまると面白いですよ読書は…。

①高橋 美雪（就職支援相談員）

②『飛嵐』 吉村 昭 新潮社

③大正4年に北海道で実際に起きた日本獣害史上最大の惨事が書かれたドキュメンタリー小説です。

わずか2日間に6人が被害に遭う様子が、緊迫感と臨場感あふれる文章で淡々と書かれていて、読む者の想像力と恐怖を誘い、読んだ後の数週間、「熊出てきたらどうしよう！」でうなされること間違いなしです・・・！



①津田 祐一（商業）

②『星新一のショートショート』

③本といえば、一冊の本を時間をかけて読んでいくイメージ。一冊を読み終えるのに、時間がかかり、面倒だと感じてしまう。でも、本は好きで、読書を通して様々な視野を広げたい。

そんな生徒の皆さんにオススメな本。一冊の本の中に、短編小説がたくさんあり、読みやすいです。

是非読んでみてください。

⑤椿 幾雄（数学）

②『スモールワールズ』 一穂ミチ 講談社

③この書物は、6編の短編からなる本です。短編なので気を張らずに軽い気持ちで読めます。どの短編も登場人物が少ないですが、一人一人の心の変化を丁寧に綴っており、「そのような考え方もあるのか」と考えてしまいます。「豪快な姉の中に隠された繊細な病人への気遣い」、「性同一障害からの親子の感情のやり取り」、「犯罪の被害者と加害者の手紙のやり取り」など題材は変化していますが、いずれも登場人物の思いも寄らない他人への気遣い・思いが書き綴られています。

軽い気持ちで読めますので、皆さんも読んでみてください。



①徳田 京子（家庭）

②『論理的思考問題』 野村裕之 ダイアモンド社

③今井書店で紹介されていたので読んでみました。

現代社会で複雑な問題に直面したとき、多くの人が時間がないうしろくさいと考えることを諦め、直感で適当に考え答えを出します。私もその中の一人です。

これからの社会では「直感に流されたり、問題を投げ出したらず、事実を整理し、俯瞰（ふかん）して、論理的に正しい答えを導き出す。」そのような力が必要だと思います。

私は現在認知症予防のために最低1問考えるようにしています。

クイズの好きな人におすすめします。

①中嶋 裕之（事務次長）

②『谷保恵美のまもなく試合開始でございます♪』

谷保恵美 ベースボールマガジン社

③私は読書が苦手で、とてもおすすめできる図書など持ち合わせていないのですが、Z I P！でこの本が紹介されたのを見て、野球観戦が大好きななかしまは読む気になりました。

谷保さんは昨シーズンまでZOZOマリンスタジアムの場内アナウンス担当として、多くの選手、ファンにながく親しまれましたが、引退されました。

場内アナウンサーになる夢への道のり、アナウンサー時代の思い出・名場面、アナウンスの心得など、千葉ロッテ満載。ZOZOマリン（行ったことないですけど）の雰囲気を思い起こしながら読めます。

野球好き、隠れパリーグ党におすすめの一冊となっております。サブロ〜〜♪

①中嶋 崇裕（地歴公民）

②『銀河鉄道の夜』 宮沢賢治 新潮社ほか

③今までに何度も読み返した本が「銀河鉄道の夜」です。一番おもしろかった本を「一番心に残っている本」に置き換えて紹介します。

なにより登場人物が素敵です。ジョバンニ、カムパネルラ、鳥捕り、女の子、青年。そして星座、停車場、水晶、蠍（さそり）といった暗示に満ちたことば。銀河鉄道に乗る人、降りる人との出会いと別れを繰り返してジョバンニの「また僕たち二人きりになったねえ」という言葉から親友カムパネルラの死。いろいろなことが起こるのを見て聞いて通り過ぎていく。あなたもひととき、銀河鉄道の旅人になってみませんか。

①中林 正樹（情報）

②『**神様のカルテ**』 夏川草介 小学館

③主人公の栗原一止は信州にある24時間・365日対応の病院で働く、29歳の内科医。現在の働き方改革に反して、睡眠を3日取れないことも日常茶飯事。妻・ハルに献身的に支えられ、経験豊富な看護師と、優秀な外科医の友人と助け合いながら、日々の診療に奮闘している。そんな主人公に、大学の医局から誘いの声がかかる。大学に戻れば、大病院に見放された患者たちと、向き合うことができなくなり、悩む主人公の背中を押してくれたのは、死を目前に控えた高齢の癌患者からの思いがけない贈り物だった。この本の舞台は長野県松本市で、度々松本市の様子が出てきます。松本城、星空、北アルプスの常念岳。本を読んでいるだけで、松本市にいるようで、一度、訪れてみたいと思うようになります。是非、読んでみてください。



①西本 修一（学校技能主事）

②『**確定申告**』 田中卓也 宝島社

③収入と税金に関する本です。いろいろと収入がありますと確定申告が必要となります。そんな時にどんなふうに記載するか、また、どんな場合が確定申告の対象になるかを優しくわかりやすく書いてある本です。そしてこの本を理解していくとエクセル表を独自に作り数字の記入をすると自動的に表計算する表も作れます。少しでも納税を少なくしたいならば、どの数字及び記入欄をどうすればよいかがわかります。なので、税金支払いを節約したい人にお勧めです。

①西村 寿之（教頭）

②『**空中ブランコ**』 奥田英朗 文藝春秋

2004年直木賞受賞作品

③「今までで1番おもしろかった本」ということですが、これがなかなか難しい。

だいぶ昔の本ですけど、役に立つ本とか、おすすめの本とはちがう。特に読んでもためになるわけではない、ただ、読んでいてばかばかしくて笑ってしまった本です。

おかしい症状に悩める人々を精神科医伊良部一郎が解決します。短編なのでさっと読めるのではないかな。

①秦野 大樹（外国語）

②『**精神科医が見つけた3つの幸福 最新科学から最高の人生をつくる方法**』 樺沢紫苑 飛鳥新社

③「今までで一番」と言われると難しいので、「青谷高校の図書室にある本の中で、最近印象に残った本」として紹介します。この本には、幸せな人生を過ごすための方法を脳科学的なアプローチで分かりやすく書いてあります。大人になると「幸せに暮らすためには何が必要か？」に対する答えをぼんやりとそれぞれが持っていますが、この本は個人が持っている「ぼんやりとしたもの」を分かりやすく言語化してあり、自分の経験値から得た「なんとなくの答え」が間違っていないことが確認できます。

①濱本 愛（国語）

②『空中ブランコ』 奥田英朗 文藝春秋

③「おもしろい」もいろいろですが、抱腹絶倒系を紹介します。5つの短編作品の主人公は、不眠症に悩むサーカスの空中ブランコ乗り、先端恐怖症のヤクザの若頭など、さまざまな職業の、さまざまな悩みを持つ人々です。作品に共通するのは主人公たちが精神科医・伊良部（いらぶ）のもとを訪れてカウンセリングを受けること。しかも治療はいつもビタミン注射。奇想天外な伊良部の治療？に巻き込まれ、果たして患者たちの症状は改善するのか。読んでいる私も巻き込まれそうな、ハラハラドキドキの1冊。

以前に授業で紹介して、一番反響があった本です。阿部寛が伊良部役でテレビドラマ化もされました。こちらもオススメ。



①平吾 寧々（主事）

②『図書館戦争』有川 浩 メディアワークス/角川書店

③近未来の日本では、政府による厳しい検閲が日常となり、本を読む自由すら奪われそうになっていた。そんな時代に、本を守るために立ち上がったのが「図書隊」。体力の優れた主人公・郁は、図書隊に入隊し、過酷な訓練を受ける。憧れの先輩・堂上や仲間たちと力を合わせ、本を守るために戦う日々が始まる。

アクションあり、ラブあり、友情あり！読書好きなら絶対に見逃せない、熱くて爽快な物語です。検閲や情報統制といった社会問題も考えさせられる一冊。読書の大切さ、そして自由な社会とは何かを考えさせてくれるでしょう。

①福田 高之（事務長）

②『モーツァルトは子守唄を歌わない』 森 雅裕 講談社

③モーツァルトの名曲に隠された彼の死の謎を、ベートーヴェンが探偵役になって解き明かすミステリー小説。江戸川乱歩賞を東野圭吾の「放課後」と同時受賞していますが、選考時の評価はこちらの方が高かったと聞きます。

登場人物やその時代背景は史実のままで、どこからが創作なのかわからないくらいに巧妙なストーリーと読みやすい文章により、テンポよくコミカルに話が進んでいくため、最後まで飽きることなく読み切れます。特にベートーヴェンとチェルニーの師弟漫才的やりとりが楽しいです。

大ヒット映画「アマデウス」と同じ題材を扱っていて、お互い全くトーンが違いながらも、両方とも面白いです。比較しながら読むのも楽しいと思います。

①堀内 誠（理科）

②『伊東家の食卓裏ワザ大全集』 日本テレビ放送網

③今から20年以上前に、日本テレビ系列で放送された「伊東家の食卓」という番組で紹介された裏ワザの書籍版です。当時は録画して見るほど、とりこになっていました。この書籍はシリーズになっていて、放送が終了している現在でも十分通用するものばかりです。放送当時に紹介された裏ワザや時短レシピのいくつかは今でも個人的に実践しています。本としてじっくり読むというよりは、辞書代わりに知りたいところだけ読む、という方法でも良いと思います。興味を持った人はぜひ読んでみてはいかがでしょうか？

8①松田 浩（数学）

②『空想科学読本 2』 柳田理科雄 KADOKAWA

③1 mと100 k gはどちらが強いのか？単位が異なるため比較することは不可能だが、それを可能にした単位「ジャバ」。これにより、これまでアニメや漫画に登場したヒーローや怪物の中で最も強いのが、ウルトラマンに登場するゼットンであることが分かった。ちなみにこのゼットンは1兆度の火の玉を吐くのだが、この強さを「ジャバ」を用いて表すと、108兆×1兆×1兆ジャバとなる。



①三浦 泰子（校長）

②『千年の黙（しじま） 異本源氏物語』

森谷明子 東京創元社

③「一番」は決められないから、最近の推しを一冊。

5年前、当時勤務していた鳥商の図書館で出会った本です。

時は平安時代。今年の大河ドラマの主人公でもある紫式部と彼女に仕える侍女の裏の顔は名探偵。歴史上の事実や古典文学作品に登場するネタを随所に折り込みながら、ミステリーをはらんだストーリーが展開されるシリーズの第1弾。（第4弾まであります。つい最近文庫化されました。）

ミステリー好きの人、古典好きの人はもちろん、歴史や古典はちょっと苦手という人も読み始めたら止まらなくなる1冊です。

①宮本 晶子（外国語）

②『手紙』 東野圭吾 文藝春秋

③東野圭吾は好きな作家の一人で彼の作品を読んでいく中でこの本に出会いました。

昔、3年生の担任をした時、11月の公開人権LHRでこの作品を扱いました。

両親が亡くなり、たった一人の弟の進学資金の為に強盗殺人を犯し刑務所に入所した兄。弟が社会で生きていく中で出会う「差別」や「偏見」。私たちはそんな弟にどう接するだろうか。そんなことを生徒と話し合えた思い出深いLHRでした。DVDもあるので、本を読んだり、DVDを見たことがない方は是非作品をご覧ください。

①森岡佐知恵（外国語）

②『どんどこももんちゃん』 とよたかずひこ 童心社

③面白かった、にもいろんなジャンルがありますが・・・

玉ねぎみたいな頭の赤ちゃんが走っている表紙の絵本です。子供が1歳になる時に、当時住んでいた町がプレゼントしてくれました。ピンクのかわいらしい本です。“どんどこ どんどこ ももんちゃんは はしっています。 どんどこ どんどこ どんどこ どんどこ ……どーん！”を何回読んだことでしょう。この本をきっかけに「ももんちゃんシリーズ」を図書館で借りてたくさん読みました。こどもに絵本を読み聞かせたしあわせな記憶をよみがえらせてくれる記念の本です。

①安木 晃平（保健体育）

②『県庁おもてなし課』 有川 浩 角川書店

③とある県庁に生まれた新部署「おもてなし課」。地域振興のために地域を走り回り 奮闘する物語。

- ・中学生の時の朝読書の本を探していた際、母から勧められた。
- ・中学2 or 3年の時
- ・地域振興のために必死に働いている姿にとても感情移入した。この本により県庁で働く場合は地域振興に関する課が良いなと当時思った。
- ・今努力している人・夢や目標がない人に見てほしい。頑張っている人は輝いている。それを感じれると思う。

①山崎 未夢（保健体育）

②『明日もまた生きていこう～十八歳でがん宣告を受けた私～』 横山友美佳 マガジンハウス

③18歳でがん宣告を受け、21歳という若さでこの世を去ったバレーボール選手が残したノンフィクション著書。

中学の時に友人から借りて読みました。

全日本に選ばれるほど将来有望だった18歳の女の子が、がんを宣告され、闘病しながら、大学受験、アルバイトなど新しい経験を積み重ねて夢を追っていた姿や、「生きているのは当たり前じゃない。失う前に気付いて欲しい・・・今ある幸せ」という言葉にぐっときた。

今、夢中になるものがない人や何を頑張ればいいのか迷っている人におすすめです。



①山口 香織（養護教諭）

②『生理ちゃん』 小山 健 株式会社KADOKAWA

③「ツキイチでやってくる困ったアイツと、何かと大変な女性たちの笑っちゃうけど愛おしい物語」・・・毎月やってくる生理について、それぞれの悩みをもつ女性が生理とどう向き合っているのか、どう付き合っているのか描かれています。中には、女性と向き合う男性の姿も描かれています。絵が可愛く、セリフも少なく読みやすい本です。性に関する研修会で講師の先生から勧められ読んでみようと思いました。「生理ちゃん」シリーズは、4巻まであるようです。1巻は保健室にも置いてあります。生理のことで悩んでいる女子は特に共感できる本でもあるし、男子もぜひ読んでほしいです。

①山田 直樹（農業・情報）

②『フォレスト・ガンブ一期一会』

ウインストン・グルーム/著 小川敏子/訳 講談社

③私が中学生の時に会った本です。フィクションで描かれていますが、1950年代～1980年代のアメリカの歴史を交えながら物語は進んでいきます。笑いあり、涙ありの内容となっています。純真な心を持つ主人公の成長と、周りを幸福へともたらししていくストーリーを楽しんでみてください。ちなみに映画化もされていますので、読むのが苦手！という人はまずそちらを試みるのもいいかもしれません。

- 10 ①吉田 学（地歴公民）
②『土器づくりからみた3つのアジア エジプト・台湾・
バングラデシュ』 齋藤正憲 創成社

③この本は、土器文化に興味を持った著者が、アジアの西、東、南で民族調査をし、文化や風土について述べた本である。青谷高校の「弥生文化探究」の授業で弥生の土器づくり体験をすることになり、参考にするため読んだ本である。土器づくりの疑問点を解決するための手がかりになった。特におもしろかったのは、風土と土器づくりが大いに関係しているということである。乾燥アジアと湿潤アジアで成形や焼き方の違いがあり、その境界にあるアジアのバングラデシュは、エジプトと台湾の土器づくりの中間型である。「弥生文化探究」で土器をつくる生徒は、一読をすすめます。

- ①脇 聖子（実習助手）
②『人生の地図』 高橋 歩 A-Works
③自分は社会人としてやっていけるかな？どんな大人になるのかな？どんな人生をおくるのかな？まだ見ぬ自分の未来に不安いっぱいだった時期に出会った一冊です。
「なんとかなるから大丈夫！」とそっと背中を押してくれます。うまく説明はできないけど、なんだか愉快的な本です。モヤッとしている時にはぜひ！



- ①吉見佐和子（事務補助）
②『ランチのアッコちゃん』 柚木麻子 双葉社
③お弁当作りが楽しくなるかも！

仕事のこととか、自分について考えちゃう！アッコさんとのランチを通して、主人公は仕事のことや、自分自身について、いろんなことを考えるようになるんだ。読んでいるうちに、自分にもあてはまることがたくさん見つかるかも。

『ランチのアッコちゃん』は、お弁当を通して、仕事のことや自分自身について考えさせられる、心温まるお話です。読んでいると、きっと元気をもらえるはず！

まだ読んだことがない人は、ぜひ読んでみてね！



令和6年度図書委員会

編 集 青木美桜
浦辺結菜
酒井那鳳
イラスト 園田美月

